

平成15年9月16日(火)

○	開 会	10時00分
○	委員長あいさつ	10時01分
○	理事者説明	10時01分
○	質問	

問 中央コンコースの幅はどのくらいか。

答 2.4メートルである。

問 東西の赤い通路(別紙図面参照)はどうか。

答 自由通路になる部分で、今後鉄道高架の完了に伴って、平面で1.6メートルの幅で南北がつながる予定である。

問 中央コンコースも含めた3つの通路の両側に店をはりつける予定はないのか。

答 高架下の利用について、今後、県・JRと位置関係と協議していきたい。

問 補正予算にある移転補償費の対象となるWEST西館の店舗は何店舗ぐらいあるのか。

答 14店舗である。

問 中央コンコースをつけるにあたって、駅南口の他の平面をさわる予定は。

答 WEST西館が東側(現在の団体待合室)に移転するだけである。

問 それによって、1階部分のトイレがなくなってしまうのか。

答 トイレは、新幹線の柱補強のために閉鎖するものである。

問 他都市の例を見てもJRとしては、施設敷地内に自分たちの経費では、トイレの設置を行っていないが、今回もJRはトイレの代替施設は考えていないのか。

答 現在のWEST西館の女性トイレを男女兼用にしようとしている、とは聞いている。また、移転後の店舗の中にもトイレが出来るとは聞いている。

問 将来的に自由通路が完成した後の姿を考えれば改めて、JRもしくは姫路市がその部分にトイレを設置しなければいけないということは出てこないのか。

答 現在の所はない、と考えている。

要望 今後の協議の中で、新しい場所にもトイレを設置されたい旨、最大限がんばってもらいたい。

答 コンコースの位置自体が観光の目玉にもなるので、トイレの問題については、今後、JRとは十分に協議していきたい。

問 中央コンコースをつくることによる、駅南広場の位置に対する変更等はあるのか。また、北側の見通しは。

答 南側はさわる予定はない。北側については、最終的に抜けるのは駅ビルの建設後ということになるであろう。ただ、中央コンコースをつくりはじめても、北に抜けないと意味がないので、仮設的な道路も必要ではないか、と考えている。北の駅前広場の整備についても、高架後なおかつ駅ビルの完成後となるので、22~23年頃になるのでは、と思われる。

問 南口の新幹線へのエスカレーターはどうか。

答 中央コンコースができると、1階部に改札ができる。そこから構内を通過して、新幹線のホームに上がっていくことになる。このため、現在南側にあるエスカレーター及び階段は駅の施設としては不要になる。

問 WEST西館の移転交渉は順調なのか。

答 中央コンコースのすぐ東側に移るということについては、合意を頂いている。全体として大きな障害はない。

委員長 営業は続けながらできるのか。

答

実際に移転してもらう時期は多少休んで頂くことになると思う。それほど長い期間ではない。

要望

補正予算関係の位置図をコンパクトにしたものを頂きたいのだが。

答

近いうちに用意する。

問

西側の自由通路はどう変わっていくのか。

答

平面で抜けるようになるが、現在の2階部分の通路をどうしていくかは、今後の検討課題である。

問

WEST西館の移転の時期には、新幹線のエスカレーターは残るのか。

答

その時点では、まだ残っている。

問

新駅ビルは南へ何メートル下がるのか。

答

44メートルである。その結果、駅前広場が約2.5倍広がることになる。

問

WEST西館の移転補償費について、JRやWESTは負担しないのか。

答

この事業は、国庫補助をもらって、市が行うものである。今回は事業の原因が公共事業という行政側の事業という位置づけである。

委員長

山陽本線が高架になった時点で、改札口も新幹線にあがるエスカレーターをつくらなければならないが、ただ姫新線が邪魔して抜けることができない。そこはどうなるのか。つきあたりにしてしまうのか。

答

17年までは、南から入り改札口をとおり、山陽本線はその時点では、まだ今の状態であるので、仮通路で対応することになる。

北からのお客さんは従来通りの流れで入ってきてもらうことになる。

委員長

改札は中央コンコース側だけになるのか。

答

16年度末あるいは17年はじめには中央コンコース側に改札をつくるが、その時点では、中央コンコースだけであると思われる。

問

キャストィ21のグランドデザイン作成の所管及び検討状況はどのようになっているのか。

答

高架事業推進本部で全部をやるわけではない。庁内で今後検討する。

問

グランドデザインの検討についてはキャストィ21の従来の範囲内45.5haではなく、もっと広い範囲で検討すべきではないか、と本会議で質問したら、その方向である、と答弁されたが、どのエリアぐらいを考えているのか。

答

今後、エリアも広げるということを視野に入れて庁内の検討委員会の中で検討する。

問

地下化の陳情が出ているが、駅西をもう少し広域的に検討しようと言う考え方の中には、将来の地下化も含めた考えも含まれていると解釈していいのか。

答

現在行っている事業については、市長が6月議会で答弁したように、山電切り下げ方式で行う。ただ、グランドデザインの中で検討することについては、考えていない。

問

要望の内容を見てみると、現在の事業を否定しているものではない。現在の事業を止めて変更すべしと言っているわけではない。現在の切り下げ工事を仮設工事とみなして、改めて地下化工事をしましよと言っているのである。この要望をどう受け止めているのか。

答

市長の命によって事業を進めているだけである。

○

終了

11時28分

- 意見取りまとめ
 - (1) 付託議案審査
議案第102号 平成15年度姫路市一般会計補正予算(第1回)は全会一致で可決すべきものと決定
 - (2) 委員長報告
正副委員長に一任。
- 終了 11時31分
- 閉会中の委員会開催について 11時33分
11月21日に加古川市への行政視察を行うことを決定
(加古川市の都合により11月17日に変更)
- 散会 11時36分